

「第三者継承で早期の経営安定」

井上 大佑 (40歳)
(八幡浜市)

Iターン



1 就農の動機・理由

前職に就いていた際、えひめお手伝いプロジェクトにて収穫ボランティアに参加。プロジェクト内で西宇和地区の良さに惹かれ研修。地区就農支援チーム内の現親方から声がかかり、第三者継承での就農に至る。

草刈機

1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県西予市野村町

職歴 会社勤務

就農研修歴

JAにしようわ (R2. 9. 1~R3. 8. 31)

就農年月 令和3年2月

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和3年)	現在の経営 (令和5年)	将来の経営 (令和8年)
労働力	男1人(本人) パート2人	男1人(本人) パート5人	男1人(本人) パート8人
経営耕地	樹園地 50a	樹園地 50a	樹園地 150a
経営内容	早生温州 40a 南柑20号 10a	早生温州 40a 南柑20号 10a	早生温州 100a 南柑20号 50a

(2) 就農時の思い

西宇和地区の中でも高品質なみかんを作っている川上地区の中で独立し、多くの人に自分の作ったみかんをもって、喜んで欲しい、笑顔になって欲しい。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

JAにしようわの研修生として、集団指導だけでなく、就農支援チームでの個別指導により習得した。研修後は、親方さんから指導を受けながら経営を開始した。

(2) 資金の準備

自己資金だけでなく、「青年等就農資金」や「農業次世代人材投資事業(経営開始型)」、また、「JA 農業おまかせ資金」も活用し、経営資金等を確保した。

○農業用施設

農業用倉庫 1棟

○主要農業機械

2トントラック 2台

軽トラック 1台

選果機 2台

動噴 1台

(3) 農地・住宅の確保

農地については、第三者継承での取得であったため、親方から継承した形となる。住宅は、自身で探した。

(4) その他苦労したこと

研修をはじめ、作業をする際に、なぜその作業を行うのかを明確にすることが難しかった。そこで、情報収集で知り得たデータを活用し、根拠立てて作業に取り組んだ。

5 農業経営の特徴

土づくりに重点を置いており、地温の安定化や緑肥としても有効な草生栽培を行うとともに除草剤を使わないことで土壌環境を守っている。その結果もあり、摘果をせずとも連産を行えており、樹の力を最大限に引き出せる栽培を実現している。

6 これからの夢

年をとれば、親方が自分にしてくれたように次代に継承したいと思っている。

それまでに自分にしかない技術をしつかりと磨き、園地や倉庫等の施設・設備だけでなく技術も跡継ぎに継承したいと考えている。継承は早期に行い、跡継ぎの育成を行いながら、生産に携わりたい。

7 成功したキーポイント

第三者継承での就農であり、農地や倉庫の取得が容易であった。また、親方が近くにいる環境であるため、栽培技術に関する疑問等もすぐに解決できた。

就農時から経営基盤が完成していたこ

とから経営安定も短期間で行えた。

8 就農を目指す方へのアドバイス

西宇和地区では、地域単位での就農希望者への研修やサポート体制が充実しています。まずは、農業体験を通じて、みかんづくりの面白さ、西宇和地区の魅力を感じてみてください。

○ 指導機関からのひとこと

井上さんは、丁寧な作業と温厚な人柄で親方にも絶大な信頼を得ています。

栽培関係の知識や技術の習得に、熱心に取り組まれており、隔年結果が少ない安定した経営を実現されています。

また、最近では、個人販売等にも取り組まれ、SNSを活用し、リピーターの獲得に努められています。

今後も自己の経営のみならず、地域のリーダーとしての活躍を期待しております。

執筆機関

八幡浜支局地域農業育成室

電話番号 0894-23-0163



温州みかんの収穫作業